

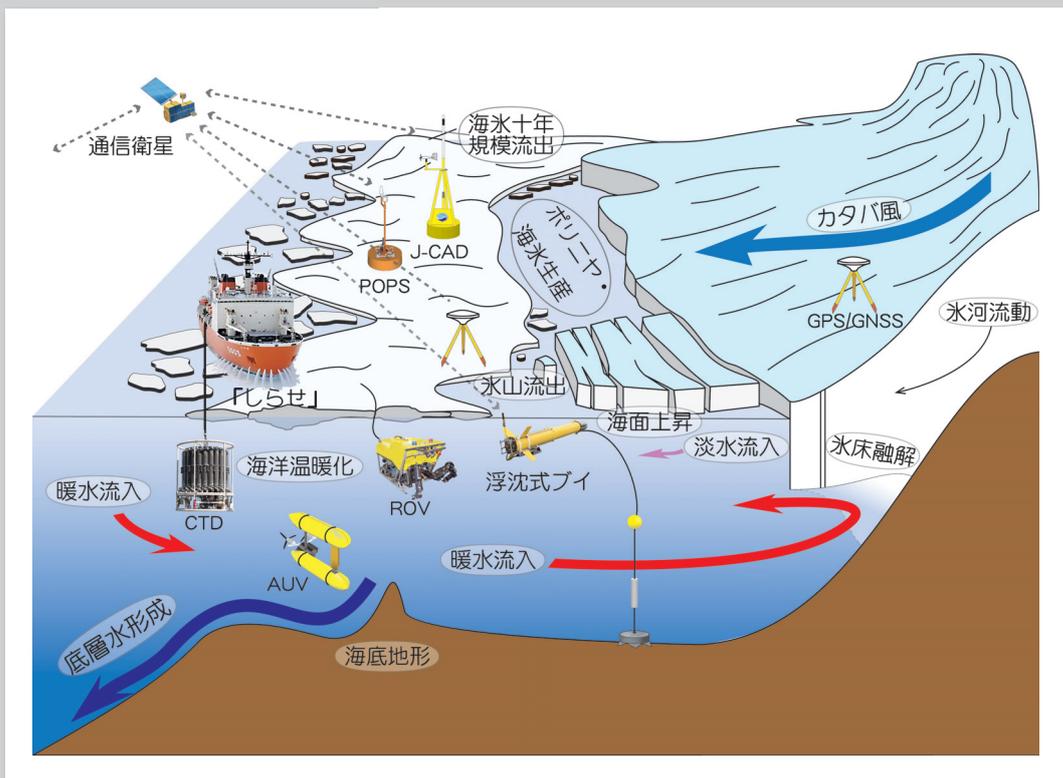
第59次南極地域観測隊(JARE59)

重点研究観測：氷床・海氷縁辺域の総合観測から迫る 大気—氷床—海洋の相互作用

ROBOTICA : Research of Ocean-ice BOUNDary INteraction and Change around Antarctica

ねらい

「しらせ」の機動的な活用と、ロボット・遠隔観測技術の開発により、東南極における気候サブシステム間相互作用の海盆間差異の解明と十年規模変動の実態把握を目指す



ROV観測



氷河GPS観測



氷河掘削観測



氷河氷厚レーダー観測



「しらせ」CTD観測

南極の大気-氷床-海氷-海洋システムは、地球規模の海水位、海洋深層循環、気候形成に重要な役割を果たす。特に、氷河・氷床—海氷—海洋システム間の相互作用においては、海洋が鍵を握っている。

東南極沿岸における特徴的な相互作用特性の把握と背景環境要因の特定を目指し、従来の観測手法に新たな観測装置および測地学的手法を融合させた分野横断観測を行う。



南極気候システム理解のブレークスルーへ

21世紀の人間社会の変容に関わる最重要課題の一つである地球規模の海水準変動予測に対して、直接的に貢献